認定子ども園
竹の友幼児園だより
No. 7
R. 5. 9. 11

〒959-1503 田上町大字原ヶ崎新田 1978　E-mail takenotomo@town.tagami.lg.jp

教育保育目標：『心もからだも健康な子ども』

●意欲をもって行動する子ども　●豊かな感性をもった子ども　●友達と仲良く遊ぶ子ども　●丈夫で元気な子ども　●気持ちや考えを伝える子ども

10がつの予定

2日(月)　教育実習(学生2名)
　～13日(金)まで
7日(土)　希望保育
6日(金)　親子運動遊び(0･1･2歳児)　午前中
9日(月)　㊗ スポーツの日
11日(水)　えいごであそぼう
14日(土)　親子運動遊び(3･4･5歳児)　午前中
　希望保育
18日(水)　就学時健診(歯科･耳鼻科･眼科)
19日(木)　食育の日　完全給食
20日(金)　えいごであそぼう
21日(土)　希望保育
24日(火)　遠足(1～5歳児)
25日(水)　就学時健診（羽生田小学校）
26日(木)　避難訓練
27日(金)　就学時健診（田上小学校）
　園だより配付
　布団･靴持ち帰り
28日(土)　希望保育
31日(火)　各種たより配付

これまでの「運動会」が「親子運動遊び」に代わります

Q どうして代わるのですか？

以前の園だよりでもお伝えしましたが、運動会で利用していた町民体育館が使用できなくなり、これまで行っていた運動会を大きく見直すことにしました。

【見直しの視点】

① 練習日を含めた他校施設の借用は、教育活動への支障が大きく借用が極めて困難なことから、園で行うにはどのような形で実施するか。

② 新しく法令で定められた「認定こども園教育･保育要領」に記載される行事のあり方※1を、どう反映させるか。

③ 園の方針の一つである「子ども主体の教育･保育」を実現するための行事にする。

④ 保護者と子どもの成長を共有し、一層連携した教育･保育になるような行事の内容にする。

【見直しをした結果】

今年度は ①幼児園で ②学年ごとに ③新たなねらいを盛り込んだ運動遊びを中心に ④親子が一緒に運動できる行事 をすることで、子どもの主体性を伸ばし、保護者の皆さんがお子様の成長を実感できる親子参加型の『親子運動遊び』を行うことにしました。

※1　生活の自然の流れの中で生活に変化や潤いを与えるもので、幼児が主体的にできるようにすること。

Q 子どもの主体性を生かした運動遊びがなぜ大切なのですか？

日頃から園では遊びは子どもにとって極めて大切な活動と捉えて日々の教育･保育を行っています。遊びと言っても様々な姿がありますが、ここで言う遊びとは、自分の意志で選択でき自分で楽しさを感じられるものを言います。子どもの姿で言えば自発的な活動としての遊びを、夢中になって遊び込むというものです。

そのような遊びを通して、「①自主的行動力が育つ ②運動能力や気力･知力が育つ ③優しさや忍耐力が育ち、自己肯定感･有能感が育まれる の 3つの大きな力が育てられる」と言われています。

それとは逆に大人が決めたことに子どもが従い、それができるような子どもの活動は、見た目もきれいになり早く進められます。しかし、最近の子どもの中には負担を感じ、活動への意欲を十分高められずにいる子どももいます。

日頃行っている運動遊びからつながる「親子運動遊び」は、当園では初挑戦の行事になります。

保護者の皆様にも一緒に軽い運動をしていただくことになりますが、子どもも、家庭も、園もみんなで楽しめるような新しい行事にしたいと考えています。

ご協力をお願いします。

お知らせとお願い

【 感染症予防対策をお願いします 】

コロナの感染者が再び増加しています。

○ お子さんの体調はもとより、同居の家族が**発熱等、感染が心配される場合**、**家族の安全が確認されるま**で登園を控えてください。

【10月6日と14日 「親子運動遊び」について 】

感染状況を見ながら、開催する予定です。感染状況によって、変更する場合もあります。スクリレ等でお知らせします。

・ 参加人数に制限はありませんが、体調のすぐれない方のご来園は控えていただきますよう**ご協力をお願いします。**

・小中学生の見学参加はご遠慮ください。

・ 昨年までお子様に渡していた手作りメダルは、ご用意いただかなくても結構です。

◎「たがみバンブーブー」のイベントと重なり、周辺の混雑が予想されます。駐車場は園･学習センター･運動広場を譲り合い、事故や混乱がないようにご協力をお願いします。

【10月24日(火)は遠足(1～5歳児)です 】

園を出て、秋の一日を楽しみます。1･2歳児は近くでピクニックを、3･4･5歳児は加茂山公園に出かけます。

手がこりすぎないおべんとうの準備をお願いします。

(子どもは「お家の人が作ってくれたおべんとう!」というだけで嬉しいものです。)

ほいくの窓　※このコーナーは特別支援教育部が担当しています

虹色なこどもたち

人間は一人一人顔が違うように、性格もみんなそれぞれ違います。子どもの気になる特性を目にした時、個性なのか？個人差なのか？どうしたらいいのか？これでいいのかな？と悩むことはありませんか？

明星大学教授の星山麻木先生は、その違いを「**みんな素敵な虹色なんだよ**」とおっしゃっています。それをわかっていると、支援がしやすくなります。

それぞれの色の特徴を、少しご紹介します。

《レッドくん》 なんでも一番正義のみかた。間違ったことが嫌い。相手の気持ちを察するのが苦手。

《オレンジちゃん》 こころやさしいあわてんぼう。忘れっぽい。ADHD傾向。

《イエローちゃん》 すばやく動く人情家。多動。好奇心旺盛。

《グリーンくん》 繊細なきちんとさん。まじめで完璧主義。感覚が過敏。

《アクアちゃん》 孤高（一人を好む）の天才。褒められること、人に相談されることが苦手。

《ブルーくん》 ゆっくりおおらか。だけど、他の子の何倍も努力するがんばりやさん。

《パープルちゃん》 甘えん坊のさみしがりや。こっちを見てくれるまで何でもやる。喜怒哀楽が激しい。

みなさんのお子さんは何色に近いでしょうか？1色だけでなく、いろんな色が混ざり合っている場合もあります。**大人（親）**としては“みんなと同じがいい”“みんなと同じじゃないと心配”と考えがちですが、**みんな違ってみんないいんです。**子どもを温かいまなざしで見つめ、その子らしさや良いところ、素敵なところを伸ばしていきたいものですね！

田上町では、先月号でお伝えした“4歳の壁”にあたる年中児の保護者の方を対象に、**『年中児子育て相談会』**を開催しています。お子さんに関する保護者からの相談に、**新潟中央短大の稲場 健先生**が、**臨床心理士**の立場から親身になって包み込むようなアドバイスしてくださる貴重な機会です。昨年度までに相談されたお家の方からは「相談して良かった！」「心が軽くなった」という感想をたくさんいただいています。お家の方の気持ちが前向きになって、子育てを楽しむきっかけになっていただけたら幸いです。ぱんだ組の保護者のみなさん、ぜひ、ご参加をお待ちしています。

各学年の基本計画です　詳しい内容は後日学年だよりでお知らせします

【たまご組】『たまご組運動遊び』
10月6日(金) 10時半～ひよこ組遊戯室
● 町体育指導員 佐藤みどりさんと親子で体を動かし触れ合いを楽しみます。
● 子どもの成長を実感したり保育者と保護者で喜びを共有したりできる機会にしたいと思います。

【ことり組】『親子でリトミック』
10月6日(金) 10時頃～ひよこ組遊戯室
● いつもの保育者といつもの場所でリトミックをする中で、肌と肌の触れ合いを通して心温まる楽しい時間を過ごします。
● 親子で体を動かして遊び心をほぐし、日頃の思いなどを共有できたらと思います。

【ひよこ組】『ふれあい遊びを楽しむ会』
10月6日(金) 10時～ 以上児遊戯室
● 町体育指導員 佐藤みどりさんと親子触れ合い遊びをします。
● 子どもたちは走ったり、飛び跳ねたり、登ったり、這ったり、音楽に合わせて歌ったり、全身を使って遊びを楽しんでいます。そんな「楽しさ」を共有しながら、子育てを前向きにとらえる機会にしたいと思います。

【きりん組】『・・・・・ 』
10月14日(土) 10時30分～12時
(10時までに登園) 以上児棟遊戯室
● 様々な運動遊びを繰り返し試したり挑戦したりして、体を動かす心地よさや楽しさを味わっている子どもたち。そんな子どもたちが自分たちで考え作り出した運動遊びを親子一緒に楽しむ時間にしたいと思います。
● 会のネーミングや内容等は、子どもたちと考え作り上げているところです。どうぞお楽しみに。

【あひる組】『あひる組運動遊び』
10月6日(金) 10時～ あひる組遊戯室
● 普段の遊びを中心に楽しみます。
● 親子体操や最近のエプロンシアターや紙芝居などのお話をもとにした遊びや巧技台やボールを使った遊びを親子で一緒に行い、触れ合いをたのしみます。

【うさぎ組】『みんなが主役!ぴょんぴょん親子デイ』 10月14日(土)
8時15分～1時間
その後自由参加座談会
● 普段夢中になっている遊びを基盤に、走る!踊る!チャレンジ!など、子どもも大人も一緒に体を動かして遊ぶことを楽しんでいきたいです。

【ぱんだ組】『親子 DE フェスティバル』 以上児棟遊戯室
10月14日(土) 9時30分～1時間　(9時までに登園)
その後親子でサークルタイム(各保育室)
● 自分なりのイメージをもって必要な物を作って「なりたいもの」を表現して遊んだり、子どもが夢中になっている運動遊びを親子で遊んだりして楽しみます。詳細は子どもたちと相談中です。
● 親子でサークルタイムでは子どもたちの良かったところを紹介し合います。